

グループハンドブック資料：AAの自立について

1990年第11回ワールドサービスミーティング報告書（90ページ）より

全体会議（一部抜粋）

分かち合いのセッションはワールドサービスミーティングの精神と意向をあらわす、特に効果的な集まりである。各評議員が、広範囲にわたったテーマや、企画、関心事についての経験や考え方を交換するまたとない機会となっている。このようなリラックスした話し合いの雰囲気の中、非常に役に立つたくさんの情報やかけがえのない教訓が、比較的短い時間のなかで、交換されてゆく。この第11回ワールドサービスミーティングでは、分かち合いセッションが2回にわたって組み込まれ、1回目は火曜日の夜、2回目は木曜日の朝に開かれた。

木曜の夜は、自立、アノニシティ、AAの版權、トレードマークとロゴの登録について話し合われた。

まず出された質問は、専門機関が主催する催しにAAメンバーが招かれ、その際、経費を受け取ったら伝統7に反するだろうか、というものだった。その答えとしては、ともかくAAは自分たちのお金は自分たちで支払うものであること、しかしときには例外もあり、遠方から招かれた場合の航空運賃のような旅費だったら、受け取ることもあるという意見が出された。最終的な結論は、かかわりのある委員会の良心に委ねられるというものだった。

それに関連して、ラジオやテレビの公共的サービスのお知らせのコーナーを無料で利用することについて、また、コンベンション委員会がコンベンション開催のためにホテルの部屋を予約した際、予約した部屋数に応じて何部屋かが無料で提供された場合、それは自立の伝統の範囲にはいるだろうか、という質問が出席中の評議員に投げかけられた。その質問に答えた人の意見では、公共サービスのお知らせについては、非営利団体なら何処でも無料で放送されることになっているのなら、そのような提供を受けるのは伝統7に反することにはならないだろう。同様に、部屋の一部が無料で提供される件についても、これはこのような業界の商取引から言ったら全く一般的なことであり、つまり、どちらの場合もAAだけが特別の配慮を受けている訳ではないから、やはり伝統7に反することにはならないという意見が出された。

☆ 第11回ワールドサービスミーティング報告書はJSOにて頒布しています。

ぜひ、概念の理解に役立つものとしてご活用いただきたいと思います。